

説明資料抜粋 (紹介元医療機関用)

<検査当日の食事・水分制限について>

検査種類	腹部・骨盤部 単純 CT	すべての 造影 CT	腹部・骨盤部 単純・造影 MRI	その他の 造影 MRI	MRCP (胆嚢・膵臓)	
					午前	午後
食事	4 時間前より絶食	4 時間前より絶食	4 時間前より絶食	4 時間前より絶食	朝のみ 絶食	朝・昼 絶食
水分	2 時間前より 水・白湯のみ可	2 時間前より 水・白湯のみ可	2 時間前からの 飲水不可 (腸の動きを弱めるため)	2 時間前より 水・白湯のみ可	2 時間前からの 飲水不可 (腸の動きを弱めるため)	
理由	胆嚢収縮が診断の支障になるため	副作用で嘔吐した時に窒息を防ぐため	副作用で嘔吐した時に窒息を防ぐため (造影の時)	副作用で嘔吐した時に窒息を防ぐため	胆嚢収縮や、腸管・尿路内の液体が診断の支障になるため	

上記 (腹部、骨盤部) 以外の単純 CT・MRI については、特に制限はありません。

<造影剤禁忌早見表>

		造影 CT	造影 MRI	対応
喘息歴・造影剤アレルギー		× ①	× ①	→代替検査の検討 ①アナフィラキシー・ショックの危険
重篤な甲状腺疾患 (コントロール不良の機能亢進状態)		× ②	○	→代替検査の検討 ②甲状腺中毒症の危険
腎機能障害	eGFR (ml/分/1.73m ²) 60 > ~ ≥30	△ (~ ×) ③	△ (~ ×) ④	→腎毒性のある併用薬剤：一時中止 ※造影 CT で eGFR <45 の場合 検査前後の輸液を考慮。事前相談 ③造影剤腎症の危険 ④腎性全身性線維症の危険 ⑤残腎機能の悪化
	eGFR (ml/分/1.73m ²) 30 未満	× ③	× ④	
	透析中	△ (~ ○) ⑤	× ④	
ビグアナイド系糖尿病薬		△ ⑥	○	→検査前 48 時間 & 検査後 48 時間の休薬 ⑥乳酸アシドーシスの危険
腎毒性のある薬剤		× ③⑦	× ④⑦	→検査前 休薬 ⑦腎機能低下の危険

上記の他に、**造影 CT** ができない疾患：褐色細胞腫、テタニー、重症筋無力症などが挙げられます。

その他、詳細は CT・MRI 検査説明書を参照ください。